

にじ しら 虹について調べてみよう

そらにはふしぎがたくさんあります。あめあがりにならふと空を見上げると、かけ橋のように見えるにじをみることができます。

にじ なないろは七色といわれていますが、どうして七色に見えるのでしょうか。にじのできるしくみについてしらべてみましょう。



1. まずはキーワードを見つけてみよう！

なないろ たいよう ひかり みず くっせつ はんしゃ
七色・太陽の光・水のつぶ・屈折・反射・プリズム

2. 参考図書(辞典や事典)を使おう！

キーワードとなることばをしらべてみましょう！

- ・『総合百科事典ポプラディア8』ポプラ社(JR 031 ヲ 8)
- ・『原色ワイド図鑑18天体・気象』学研(JR031 ケ 18)
- ・『ニューワイド学習百科事典5』学研(JR031 ニ 5)

3. 虹ができるしくみについて調べてみよう！

- ・『天気と気象 ポプラディア情報館』ポプラ社(J451 テ)
- ・『天気と星がわかる そらのえほん』学研教育出版(J451 テ)
- ・『自然がつくる色大図鑑』PHP 研究所(J425 シ)

しぜんがつくるいろを豊富な写真で紹介しています。

- ・『楽しい気象観察図鑑』草思社(451 タ)

にじなど気象現象を美しい写真で紹介しています。

- ・『なぜ？ どうして？ 身のまわりの疑問、まるわかり大事典』

飛鳥新社 (J404 ウ)

- ・『水滴と氷晶がつくりだす空の虹色ハンドブック』

文一総合出版社 (451.7 イ)

- ・『お天気博士になろう！ 3』ポプラ社(J451 オ 3)

にじはどのようにしてあらわれるのか説明しています。

- ・『光と色の100不思議』東京書籍(425 ヒ)

- ・『みんなが知りたい！「天気」のことがわかる本』メイツ出版(J451 ミ)

お天気の「どうして」「なぜ」をわかりやすく説明しています。

- ・『ギモンかいけつ！ 天達さんのお天気教室』

文化学園文化出版局(J451 キ)

- ・『理科の実験・観察 物質とエネルギー編』ポプラディア情報館』

ポプラ社(J407 リ)

にじがみえるしくみやにじのしょうたいについて書かれています。

・『^{きしやう} ^{ずかん} 気象の図鑑』 技術評論社 (YA451 キ)

・『^{そら} ^{ふしぎ} ^{ずかん} 空のふしぎ図鑑』 PHP 研究所 (J451 ソ)

^{てんき} 天気「なぜ？」に^{こた} 答えてくれます。

・『^{きしやう} ^え ^{じてん} 気象がわかる絵事典』 PHP 研究所 (J451 キ)

^{なぜ} ^{にじ} ^{なないろ} 虹は七色にみえるのかを^と ^あ 解き明かしています。

・『いちばんやさしい^{てんき} ^{きしやう} ^{じてん} 天気と気象の事典』 永岡書店 (J451 タ)

^{にじ} 虹の^{できる} ^{しき} ^{しゆらい} しみやくみや虹の種類について書かれています。

4. ^{にじ} ^{いろ} 虹の色について調べてみよう！

・『^{いろ} ^{ひやっか} 色のふしぎ百科2』 樹立社 (J757 イ2)

^{いろ} ^{しやうたい} ^し 色の正体を知ること^{にじ} ^{つく} で虹を作ることができます。

・『^{いろ} ^{だいけんきゆう} 「色」の大研究2』 岩崎書店 (J757 イ2)

^{いろ} ^{かた} ^{いろ} ^{せいしつ} ^{ちが} ^か 色のでき方、色による性質の違いについて書かれています。

5. ^{にじ} 虹をつくってみよう！

・『^{そら} ^{てんき} 空と天気ふしぎ109』 借成社 (J451 モ)

^{にじ} 虹が^{どうして} ^{せつめい} できるかを説明するとともに、^{にじ} ^{じんこうてき} 虹を人工的に^か 作ることが書かれています。

・『^{いろ} ^{だいけんきゆう} 「色」の大研究3』 岩崎書店 (J757 イ3)

^{いろ} ^{ふしぎ} ^{たいけん} 色の不思議を体験することができます。

・『^{てんき} ^{ふしぎ} 天気の不思議がわかる！』 実業之日本社 (J451 テ)

・『^{てんき} ^{じゆうけんきゆう} ^{じっけん} ^{かんさつ} 天気の自由研究 実験と観察でわかる^{てんき} 天気のしくみ』

永岡書店 (J451 タ)

^{にじ} ^{げんしやう} ^{りかい} 虹という現象を理解するために、^{かんたん} ^{じっけん} ^{しやうかい} 簡単にできる実験を紹介しています。

・『^{ひかり} ^{だいけんきゆう} 光の大研究』 PHP 研究所 (J425 タ)



^せ ^{かい} ^{かく} ^ち ^{つた} ^{はなし} 世界各地に伝わるにじの話

^{おおむかし} 大昔のギリシアでは、^{にじ} ^{てん} ^ち 虹は天と地をむすぶ^{めがみ} 女神とされ、^{きた} ^{てん} ^ち 北ヨーロッパでは天と地をむすぶ^{はし} 橋で、その^{ねもと} 根元には^{たからもの} ^{かんが} 宝物があると^{かんが} 考えられていました。一方、^{いっぽう} ^{にっぽん} ^{ちゆうごく} 日本や中国では、^{あめ} ^あ ^{そら} 雨上がりに空にかかる^{にじ} 虹は、^{かたち} ^{みず} ^{かみ} ヘビの形をした水の神^{さま} 様だと^さ ^せ ^て ^い ^た ^た ^め されていたため、^{にじ} ^{ゆび} 虹を指さしてはいけないといわれてきました。

^{しゅつてん} ^み ^あ ^{そら} ^{ずかん} 出典『見上げてごらん！空のふしぎ図鑑』 PHP 研究所

^{にじ} ^{たの} しかけえほんで虹を楽しもう

・『^{にじ} ^{つく} ^{つた} ^の ^だ ^{あれ}？』 世界文化社 (タ1Eニ)

・『^{ふしぎ} ^{なにじ}』 福音館書店 (APE フ)



宇美町立図書館 学校司書担当